8． 防除用機械

1）走行型動力噴霧機

(1) 用　途

停止または走行しながら、主として大規模水田、畑作など病虫害の防除を行うのに使用する。

(2) 構　造

走行型動力噴霧機は、散布及び走行共に動力で行うものであり、農道又は畝間で停止、または走行しながら散布作業を行うものである。

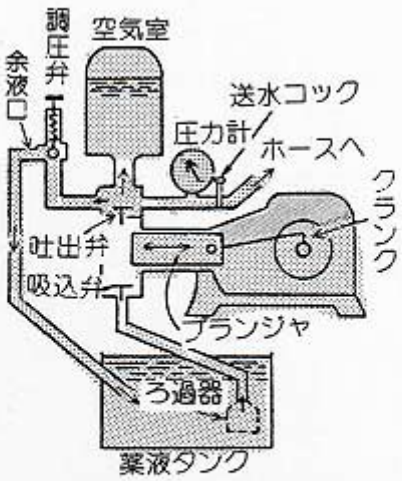
構造は、動力噴霧機、薬液タンク、攪拌装置、ポンプ、ホース巻取機、吸水ポンプ、及びノズルなどからなる。薬液タンク容量は300 ～2000・、ポンプは往復動ポンプが使用され、また、ノズルには、水田用の畦畔散布ノズル、畑作用のブーム・ノズル（次頁）などがある。

(3) 取扱い上の留意点

適正な噴霧圧力、散布量、散布速度で作業する。特に、散布量は多すぎると付着農薬が流れて効果が減少するので、出来るだけ少量で散布するように心掛ける。また、風の強い時は、漂流飛散するので作業をさける。

(4) 安全作業のポイント

① トラクターと本機両者の取扱説明書や安全ラベルを良く読み理解する。
② ＰＴＯ軸や可動部のカバーは常に所定の位置に付けておく。
③ 点検・調整・修理は、必ずトラクターのエンジンを止めてから行う。
④ 着脱時には作業機との間の挟まれや押し潰されに注意する。
⑤ 始動、発進、後進時には必ず周囲に人がいないことを確認する。
⑥ 移動時には、特に転倒事故に注意し、また、他車との追突や接触に注意する（予防対策として反射材などを活用する）。
⑦ 補助者を含めて防護めがね、マスク、手袋、服を着用し、また、風向きなどを考慮して作業し、農薬を被爆しないように注意する。
⑧ 農薬の取扱は、その説明書に従って行うこと。



動力噴霧機の構造

トラクター搭載式動力噴霧機